

# 2012年6月期 第2四半期 決算説明資料

株式会社 マクロミル

証券コード: 東証1部 3730

# トピックス

**増収増益、過去最高収益を達成**

→ P2-10 ご参照

**株主還元として、期末配当予想の増額を決定**

→ P11-12 ご参照

**M&Aを含む新たな事業推進の加速**

→ P13-17 ご参照

# 2012年6月期 第2四半期 決算の概要

✓ 増収増益となり、過去最高収益を達成

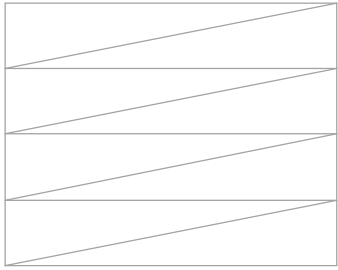
連結：子会社の先行投資による赤字が発生しているものの、計画利益を上回って着地

単体：前期に発生した統合関連費用が消滅し、利益は大幅改善

(単位:百万円)

		第2四半期会計期間 (10/1~12/31)			第2四半期累計期間 (7/1~12/31)			上期業績予想 (7/1~12/31)	
		2012年6月期	2011年6月期	前年比	2012年6月期	2011年6月期	前年比	(達成率)	
連結	売上高	3,598	3,435	104.7%	6,802	6,283	108.3%	7,000	(97.2%)
	経常利益	915	873	104.8%	1,577	1,455	108.4%	1,455	(108.4%)
	経常利益率	25.4%	25.4%	±0pt	23.2%	23.2%	±0pt	20.8%	+2.4pt
	特別損失	3	162	2.3%	7	255	2.9%	-	-
	当期純利益	456	407	112.2%	799	690	115.8%	730	(109.5%)

## ※ご参考

単体	売上高	3,575	3,432	104.2%	6,760	6,273	107.8%	
	経常利益	1,061	859	123.4%	1,851	1,434	129.1%	
	経常利益率	29.7%	25.0%	+4.7pt	27.4%	22.9%	+4.5pt	
	当期純利益	582	403	144.6%	1,040	683	152.3%	

(注) 当社は、2010年8月1日付でヤフーバリューインサイト株式会社マーケティングリサーチ事業を吸収分割により承継しております。

# (予想)2012年6月期 通期業績

✓ 利益の進捗は好調だが、通期業績予想は据え置く

(単位:百万円)

		下期 (1/1~6/30)		
		2012年6月期 予想	2011年6月期 実績	前年比
連結	売上高	7,200	5,926	121.6%
	経常利益	1,445	1,067	135.5%
	経常利益率	20.1%	18.0%	+2.1pt
	当期純利益	770	480	158.6%

通期 (7/1~6/30)			
2012年6月期 予想	2011年6月期 実績	前年比	進捗率
14,200	12,210	116.3%	47.9%
2,900	2,522	115.0%	54.4%
20.4%	20.7%	△0.3pt	+2.8pt
1,500	1,171	128.1%	53.3%

## ※ご参考

単体	売上高	7,060	5,939	119.3%
	経常利益	1,640	1,478	110.4%
	経常利益率	23.2%	24.9%	△1.7pt
	当期純利益	950	741	127.7%

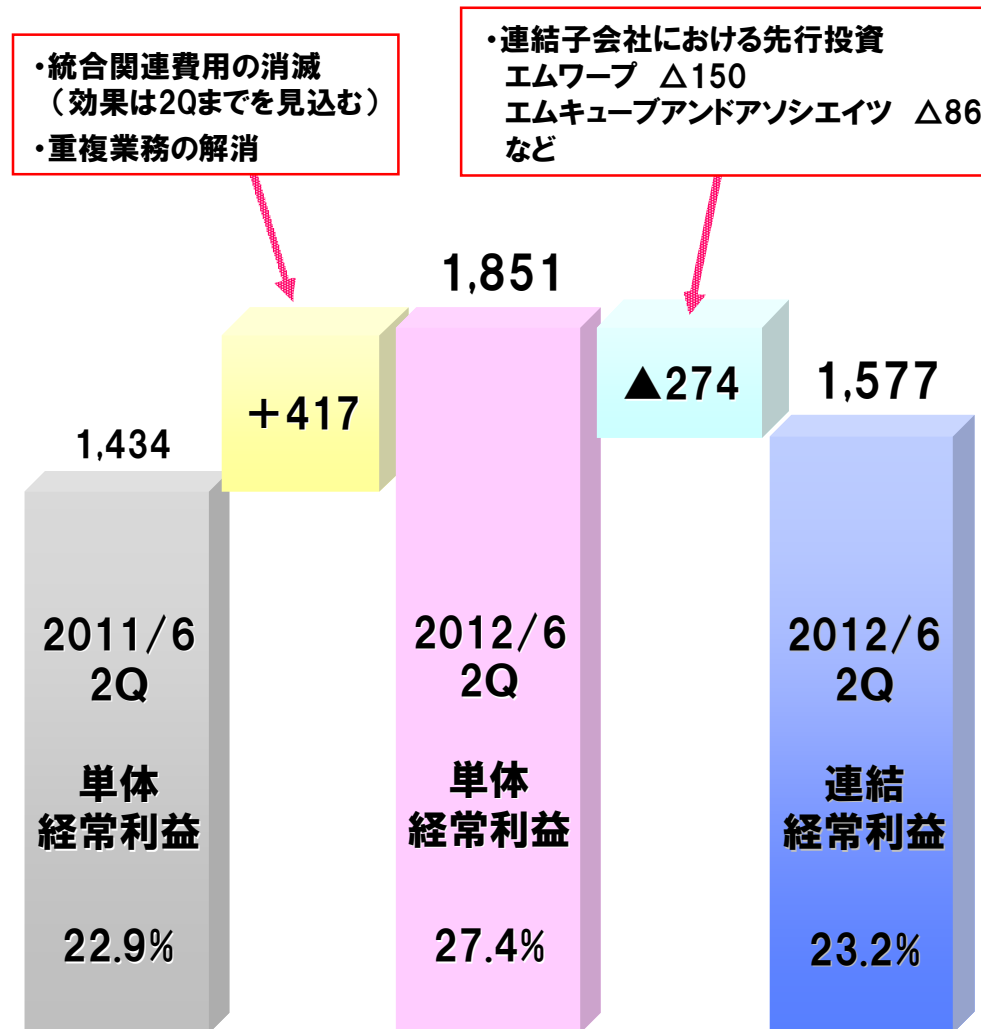
14,000	12,212	114.6%	48.2%
3,400	2,912	116.8%	54.5%
24.3%	23.8%	+0.5pt	+3.1pt
1,970	1,424	138.3%	52.8%

(注) 当社は、2010年8月1日付でヤフーバリューインサイト株式会社のマーケティングリサーチ事業を吸収分割により承継しております。

# コスト構造の変化と利益分析（2Q累計）

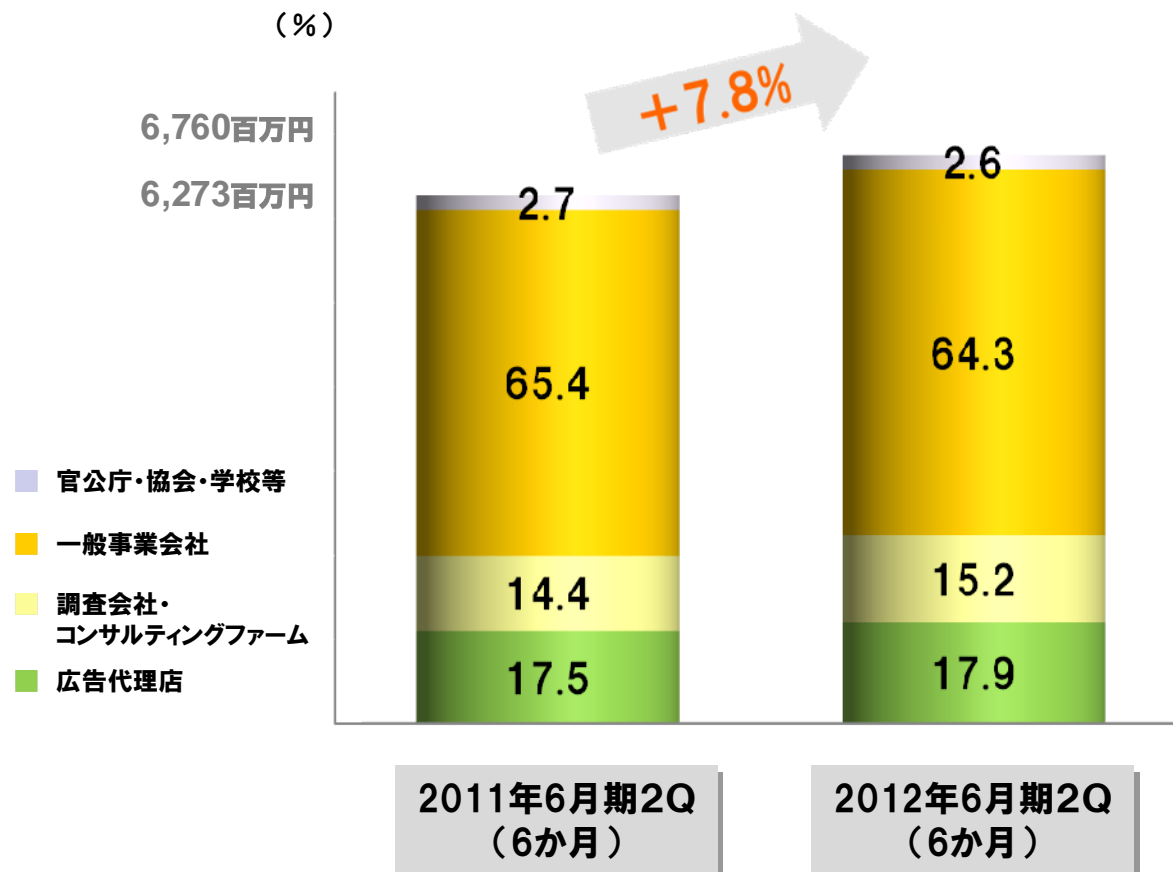
（単位：百万円）

単体	2011年6月期2Q		2012年6月期2Q		
	金額	百分比	金額	百分比	前年比
売上高	6,273	100.0	6,760	100.0	107.8
原価	3,170	50.5	3,189	47.2	100.6
人件費	864	13.8	874	12.9	105.8
モニタ費+外注費	1,582	25.2	1,785	26.4	112.8
その他	723	11.5	529	7.8	73.2
販売管理費	1,693	27.0	1,714	25.4	101.2
人件費	1,037	16.5	1,044	15.5	100.7
その他	655	10.5	669	9.9	102.1
経常利益	1,434	22.9	1,851	27.4	129.1
（連結経常利益）	1,455		1,577		108.4
当期純利益	683	10.9	1,040	15.4	152.3



# 業種別売上高構成比(単体)

- ✓ 調査会社・コンサル、広告代理店等が好調に推移し、前期比7.8%増収  
 → 外需関連企業からの受注が低迷したものの、売上比率が低く影響は限定的



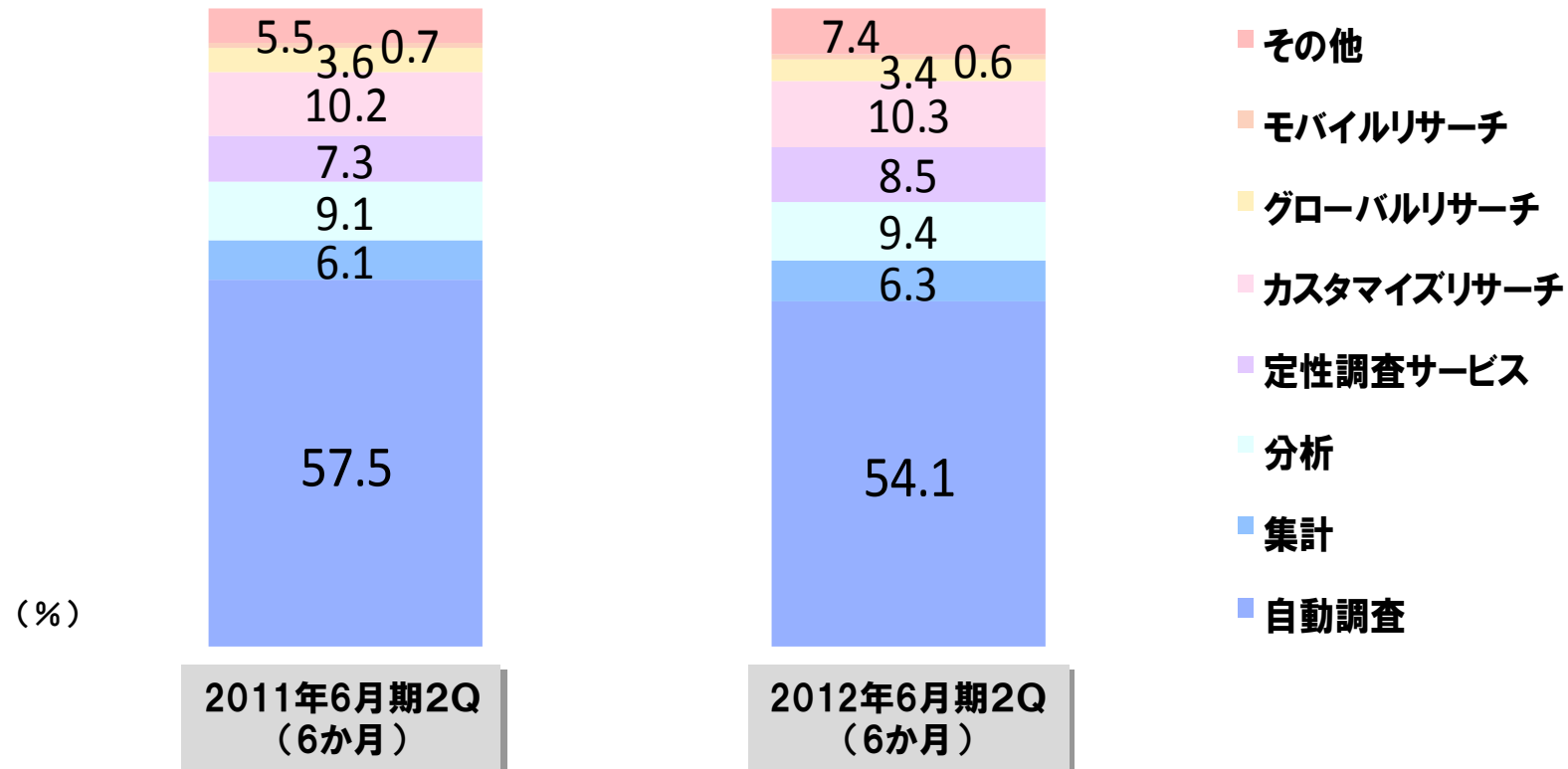
### 売上高伸長業界 (前年同期、金額比)

- 調査会社・コンサル  
 +13.9% +1.2億円
- 広告代理店  
 +10.2% +1.1億円
- 日用品・薬品  
 +12.0% +0.8億円

# サービス別売上構成の変化(単体)

✓ ほぼ全てのサービスで増収となり、以下は特に大きく伸長

- 定性調査サービス 前年比 +24%
- その他サービス 前年比 +45% (QPRが+70%と大きく伸長)



# その他サービスの状況(QPR、bdb、AIRsMEMBERS)

- ✓ QPR、bdb、AIRsMEMBERSの3商品で、前年比+59.1%を達成その他  
→ その他サービス全体では前年比+45% (昨年実績にはVIその他サービスが含まれる)
- ✓ QPR: 協力モニタ数の拡大により、分析可能な顧客商品が増加。  
新規契約、オプションサービスの受注増により、70%増収を達成



**QPR**<sup>TM</sup>

3万人のモニタから収集する  
消費者購買データベース

186→317百万円

**bdb**  
brand databank.com

3万人の持ち物・嗜好に関する  
調査結果のデータベース

79→106百万円

**AIRsMEMBERS**  
NetResearch and Panel Management System

企業の会員管理機能とアンケート機能を  
兼ね備えたSaaS型サービス

43→67百万円

2012年6月期  
目標  
合計10億円



# 単価・稼働社数 窓口数・VIPの状況

✓ VIP企業の売上高比率が全体の80%へ拡大

指標	単位	2010年6月期		2011年6月期				2012年6月期	
		3Q	4Q (通期)	1Q	2Q	3Q	4Q (通期)	1Q	2Q
Q毎 平均受注単価 (定性調査を1案件とカウント) (注1)	万円	71.1	68.5	77.3	79.1	80.0	75.5	78.3	79.7
Q毎 平均受注単価 (自動調査のみ) (注1)	万円	52.4	48.5	53.9	52.2	52.0	49.8	52.5	52.0
Q毎 平均受注単価 (ご参考) (注1)	万円	72.9	70.0	79.7	82.2	83.5	78.7	81.3	83.3
年間稼働社数 (注2)	社	1,270	1,441	904	1,386	1,675	1,895	985	1,371
年間稼働窓口数 (注2)	窓口	3,477	4,188	2,221	3,870	4,988	6,067	2,485	3,988
VIP社数 (注3)	社	155	144	242	240	240	229	254	256
VIP内Q平均1,000万円 以上売上高社数 (注4)	社	(29)	(27)	(59)	(58)	(55)	(53)	(61)	(63)

(注1) 2011年6月期の平均単価の算定には、旧YVIサービスは含んでおりません。平均受注単価(ご参考)は、定性調査を案件数に含めずに算定しています。

実態に合った単価を算定するため、今後上段の「定性調査を1案件とカウント」方式にて、全体単価を算出いたします。

(注2) 各期累計表示です。期初から該当期間までに一度以上売上のあった社数/窓口数を表示しております。

(注3) 各期累計表示です。年間1,000万円以上売上の顧客をVIPと定義しております。

(注4) 各期累計表示です。

# 人員の状況

指標	単位	2010年6月期		2011年6月期				2012年6月期	
		3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
従業員数 連結(注)	人	297	309	605	553	545	557	566	594
従業員数 単体(注)	人	289	298	596	542	528	542	541	550

(注)従業員数は契約社員・休職者を含みます。

## ✓ 人員職種別内訳

営業  
135名

運用  
90名

リサーチャー  
145名

その他…

事業企画、経営管理、  
モニタサポート、スタッフなど

※執行役員以上と休職者はカウントしていません。  
※2012年1月1日現在の人数です。

## ✓ 連結子会社従業員数 25→44名

エムキューブアンドアソシエイツ:5→6名

エムワープ:3→17名 (AIRsMEMBERSグループがマクロミルより異動)

マクロミルチャイナ:17→21名

# モニタの状況

指標	単位	2010年6月期		2011年6月期				2012年6月期	
		3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q
マクロミルモニタ	万人	90.3	92.6	94.0	100.2	98.5	104.0	105.9	107.1

※2011年12月現在

PCモニタ	モバイルモニタ
<p>マクロミルモニタ 107.1万人</p> <p>Yahoo! リサーチ・モニター 約143万人</p>	<p>パソコン+ケータイ併用モニタ モバイル格カモニタ 約29万人</p> <p>ケータイ専用モニタ EILMOB ミルモバモニタ 約5万人</p>

✓ 2012年3月より、スマートフォン対応アンケート回答画面リリース予定（AIRs）

- 同一の調査に対し、PC/スマートフォンどちらからでも専用画面で回答可能に
- 時間や場所の制約がなくなるため、回答回収率の向上・モニタ数増大を見込む

# バランスシートの推移(連結)・資本政策

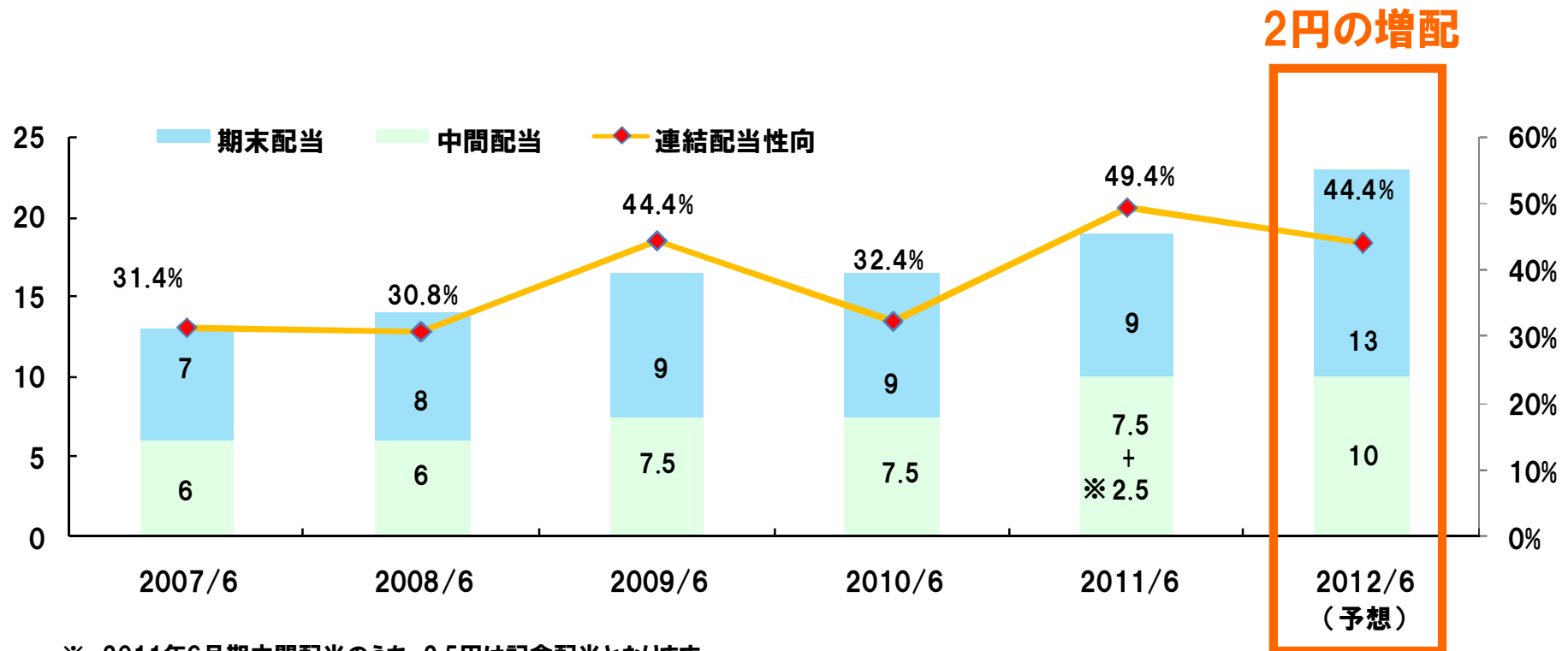


✓ 自己株式取得を継続中（取得期間:2011年8月～2012年8月、取得枠:25億円）

取得期間	取得株式数	取得価格の総額
2011年8月3日から 2012年1月末まで	1,861千株 (進捗率58.2%)	1,606百万円 (進捗率64.3%)

# 配当政策

- ✓ 中間配当金は1株あたり10円を決議
- ✓ 期末配当予想の増額を決議（11円→13円）  
→ 上期に上ぶれた利益の一部を株主に分配



※ 2011年6月期中間配当のうち、2.5円は記念配当となります。

※ 当期の連結配当性向は発行済株式数30,815,200株より12月末時点の自己株式1,847,900株を控除して計算しております。

# マクロミルグループの事業展開について

- ✓ 国内・新規・海外 3つの軸で事業展開を推進
- ✓ 中期経営計画の方針に基づき、調達資金を活用

## 国内事業： 国内ネットリサーチ事業・周辺事業の強化

- ネットリサーチ事業・周辺事業の着実な成長、利益率の維持向上を目指す
- 業務提携やJV設立を軸に、業務領域を補完

## 新規事業： 収益化を狙うフェーズへ突入

- POPCORNリニューアル版、新アプリをリリース予定
- インキュベーション(起業支援)により、アプリごとに運営の自由度を高める

## 海外事業： 韓国にて事業基盤を固め、アジア展開を加速させる

- 韓国法人(株)エムブレインを子会社化（韓国ネットリサーチ市場にてトップシェア）

# 資本業務提携、グループ会社の状況

(単位:百万円)



## 連結子会社

### 国内



⇒QPRパネルの構築  
消費者購買データ収集

2012/6 2Q累計  
売上高:239 経常利益:△86



⇒主にスマートフォン分野における  
マーケティングソリューション事業  
次世代マーケティングプラットフォーム事業  
(アプリ開発等)

2012/6 2Q累計  
売上高:11 経常利益:△150

### 海外



⇒韓国におけるリサーチ事業  
2012年2月子会社化(予定)

2010/12 通期  
売上高:859 経常利益:65



⇒中国におけるリサーチ事業  
2011年9月営業開始

## 持分法適用会社

電通マーケティングインサイトとの  
合併会社

NEW

⇒40.0%出資(4月設立予定)



⇒38.5%出資

## 資本業務提携



NEW

⇒14.97%を保有(議決権比率)

## 業務提携



dentsu NEW

電通マーケティングインサイト



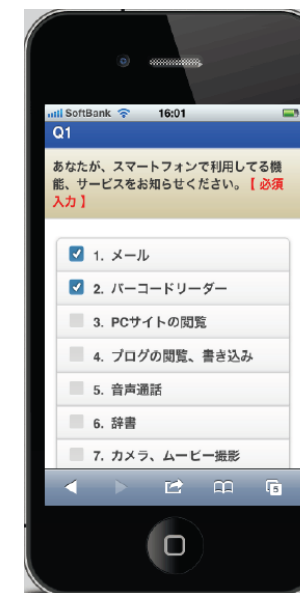
marsh NEW

# 国内事業の取り組み(ネットリサーチ、周辺事業)

## 『国内マーケティングリサーチ事業の安定的成長』

### ネットリサーチ事業の強化

- ✓ AIRsのスマートフォン対応画面を3月リリース予定  
→ モニタのアンケート回答率向上、若年層モニタの獲得を狙う
- ✓ 電通および電通マーケティングインサイトとの業務提携
- ✓ 電通マーケティングインサイトとの合併会社設立(4月予定)  
→ ネットリサーチ事業の集約・効率的な運営を目指す
- ✓ 株式会社マーシュとの業務提携(オフラインリサーチ分野)



※スマートフォン用画面イメージ

### 周辺事業の強化

- ✓ 株式会社ゼンリンデータコムとの業務提携  
→ エリア・マーケティング分野の新サービス開発  
当社およびゼンリンデータコムの保有する  
消費者データ・地図情報・消費者行動データを活用

### システム開発力の強化

- ✓ テックファームとの資本業務提携  
テックファームのIT技術力×  
マクロミルのマーケティングノウハウ  
→ 高度なソリューションサービスを検討

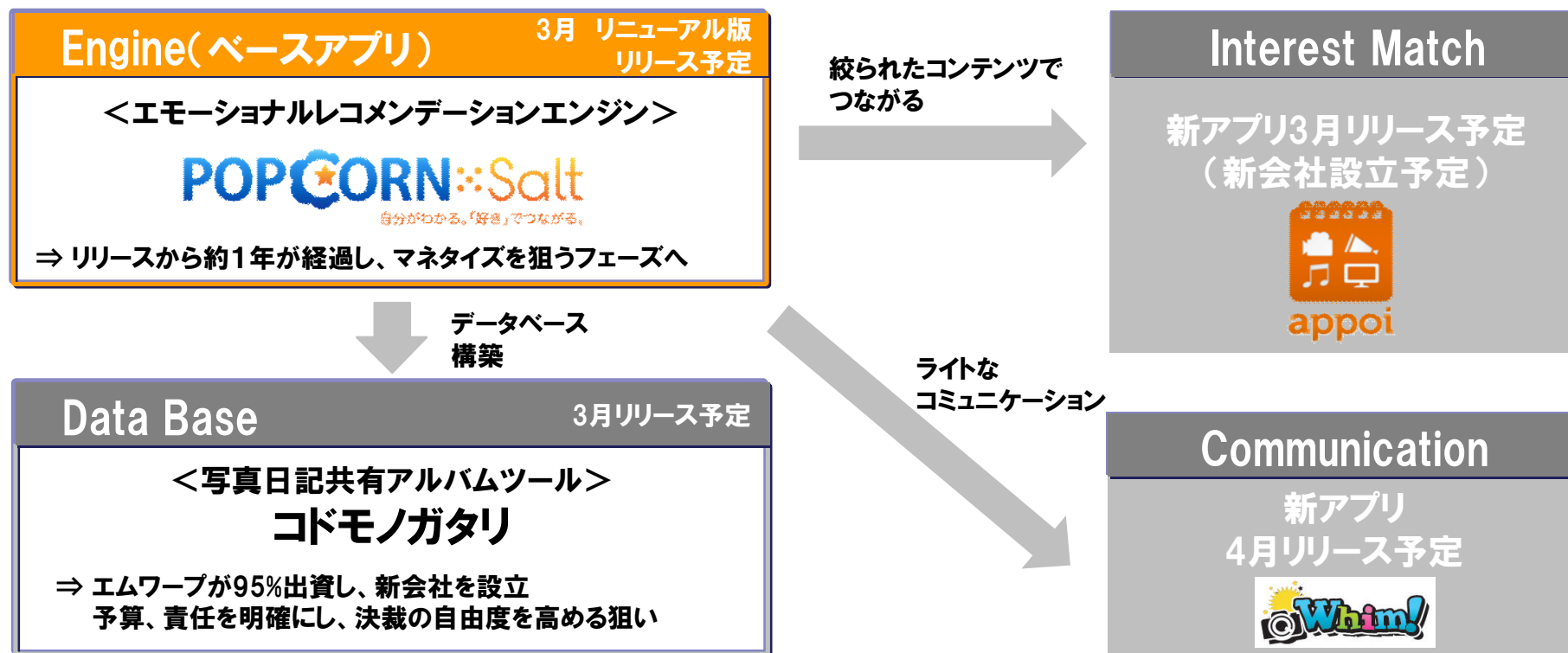


# 新規事業の取り組み



『次世代マーケティングプラットフォームを創造し、  
企業のマーケティング活動の支援を行うこと』をミッションに事業展開

- ✓ マネタイズを狙うフェーズへ - POPCORNリニューアル版リリース
- ✓ インキュベーション(起業支援)により、新アプリの開発を推進
- ✓ AIRsMEMBERSやアプリを活用し、企業のマーケティング支援をおこなう



# 海外事業の取り組み

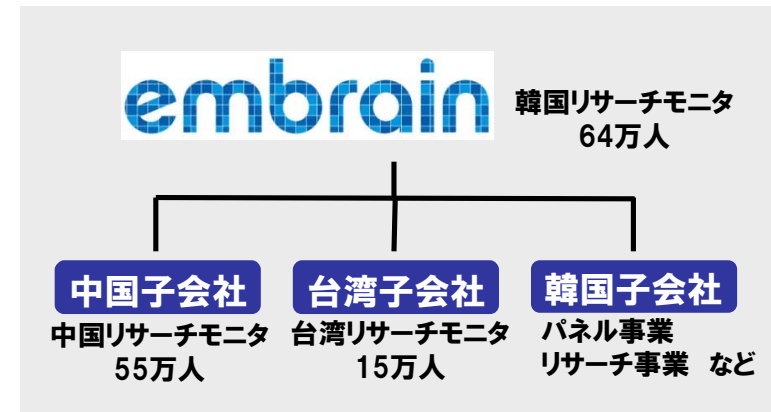
## 『アジアを中心としたネットリサーチのグローバル展開』

- ✓ 韓国法人 (株)エムブレインを子会社化 (51.0%取得、取得金額 約6.4億円)

→ 韓国における事業基盤を確実にし、アジアを中心とした海外展開加速を狙う

### エムブレインの特色

- 韓国ネットリサーチ市場においてトップシェア  
※ KORA(Korea Research Association)2010年調査より
- 東北アジアに独自のアンケートパネルを保有 (右図ご参照)
- 2013/6予想 売上高11億円、経常利益1億円程度  
主要顧客はサムスン電子など



### ➤ (ご参考)韓国ネットリサーチ市場データ

年度	2008	2009	2010	2011(E)	2012(E)	2013(E)	2014(E)
ネットリサーチ市場規模	460	527	672	760	850	950	1,060
ネットリサーチ比率	13%	14%	16%	17%	18%	19%	20%
対前年成長率	15%	15%	27%	13%	12%	12%	12%

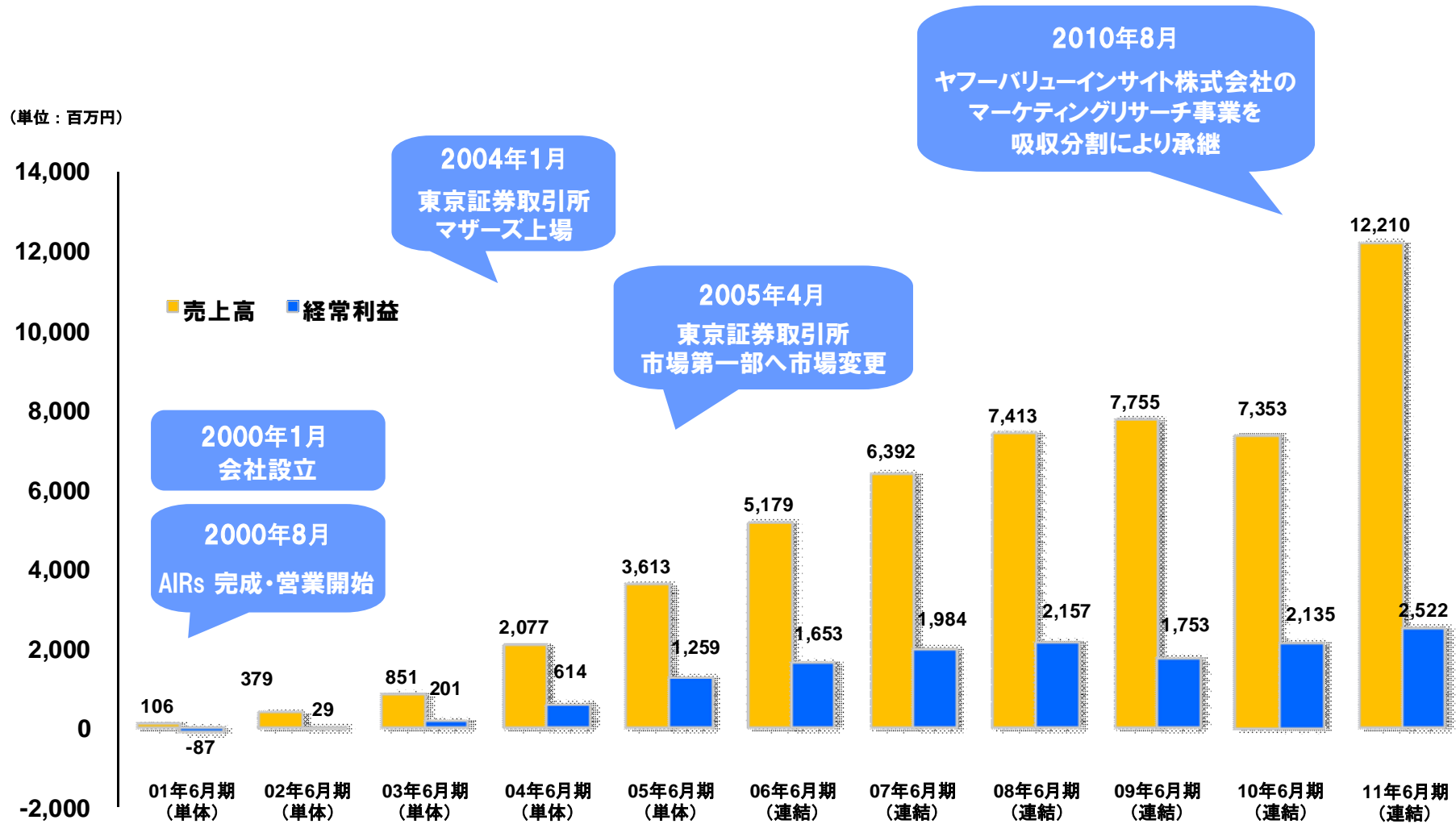
(億ウォン)

※ KORA、ESOMAR調査にもとづき、エムブレイン推定 17

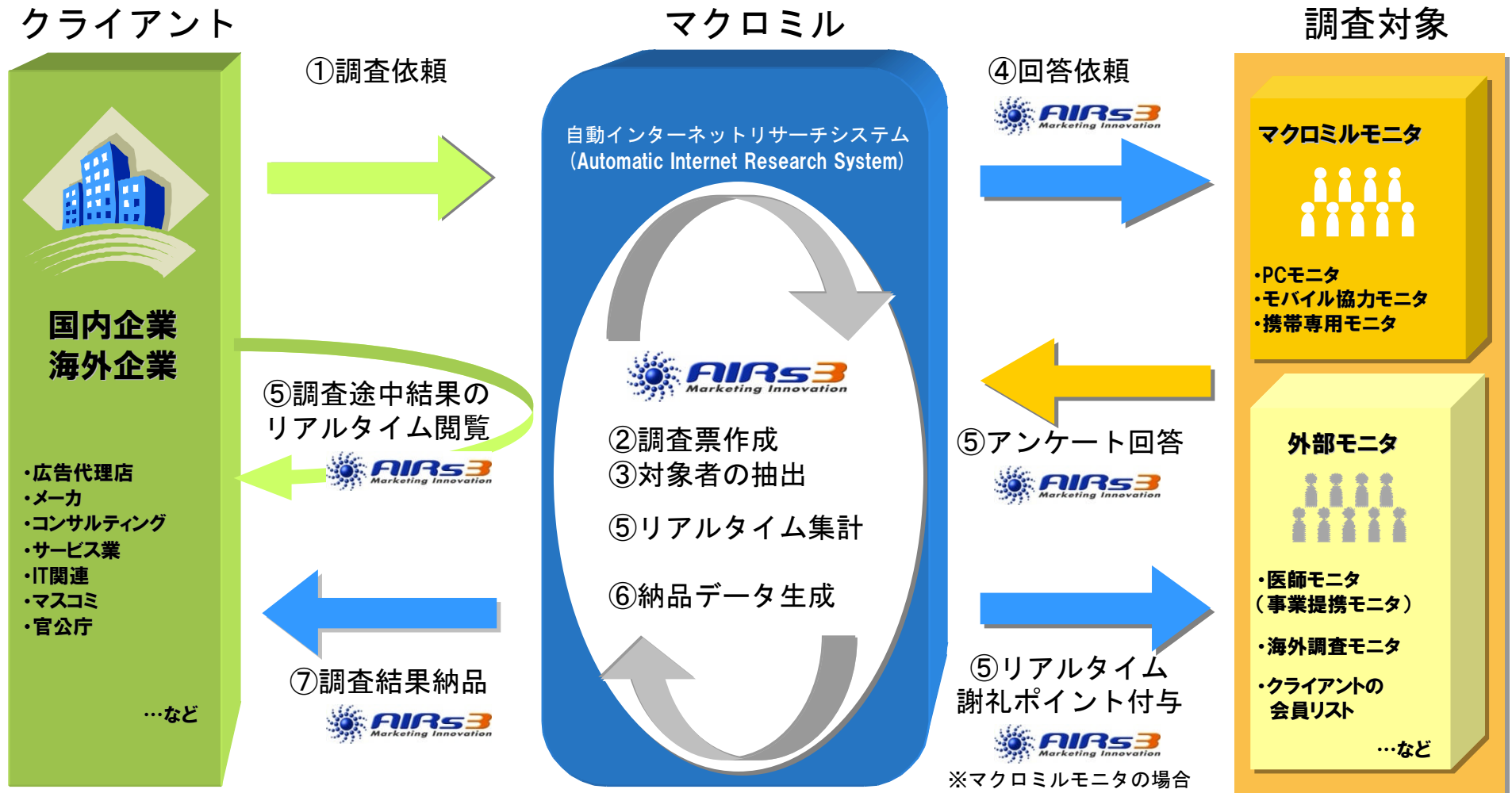
**日本最大最強  
かつ  
世界に類を見ないITマーケティング企業へ**



# (ご参考)沿革・業績推移



# (ご参考)ネットリサーチのサービスフロー



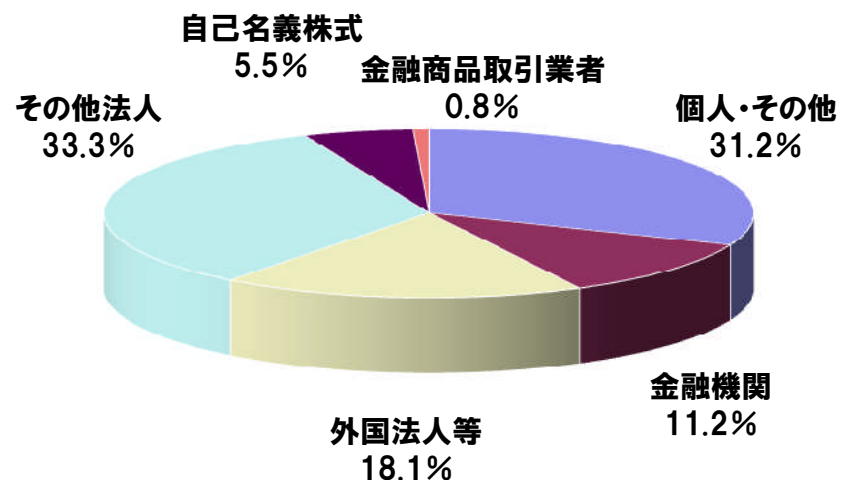
※ AIRsを利用した調査のサービスフロー代表例となります。調査内容等によっては、AIRsを利用しない場合やフローが変更となる場合があります。

※ 調査の企画設計が発生する場合はフロー①の前、調査結果の集計分析が発生する場合はフロー⑦の後となります。

# (ご参考)株式情報

2011年12月31日時点

発行可能株式総数 83,712,000株  
 発行済株式の総数 30,815,200株  
 株主数 8,782名  
 単元株式数 100株



大株主名	持株数(株)	持株比率(%)
ヤフー株式会社	7,071,100	22.95
株式会社バニラスカイ	2,402,000	7.79
ゴールドマンサックスインターナショナル	2,143,700	6.96
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	1,427,500	4.63
杉本 哲哉	912,400	2.96
柴田 聡	832,000	2.70
福羽 泰紀	709,600	2.30
ゴールドマン・サックス・アンド・カンパニー レギュラーアカウント	582,400	1.89
中崎 祐史	549,800	1.78
株式会社インテック	514,400	1.67

注1. 当社は自己株式1,847,900株を保有しておりますが、上記大株主には含めておりません。

注2. 持株比率は発行済株式総数を基準に計算しております。

注3. 上記株式会社バニラスカイは、当社代表取締役である杉本哲哉が代表を務める法人であります。

# (ご参考)2012-2014年 中期経営計画

## (2011年8月3日発表)

(単位:百万円)

経営目標		2011年度実績	2012年度	2013年度	2014年度	2011年度比
連結売上高		12,210	14,200	15,500	20,000	+64%
経常利益		2,522	2,900	3,600	4,700	+86%
経常利益率		20%	20%	23%	24%	+4pt
		2011年度実績	2012年度	2013年度	2014年度	2011年度比
売上高内訳 (注)	国内マーケティング リサーチ事業 ※1	12,210	14,000	15,100	16,000	31%
	海外事業 ※2	-	200	400	1,000	-
	新規事業 ※3	-	-	-	-	-
	M&A(国内・海外)	-	-	-	3,000	-
【ご参考】		2011年度実績	2012年度	2013年度	2014年度	投資額合計
投資計画	システム投資 ※4	-	500	300	200	1,000
	新規事業投資	-	300	300	200	800
	M&A他投資	-	500	1,500	3,000	5,000

※1 ネットリサーチ+周辺事業を含みます。

※2 持分法適用会社のマクロミルコアは除いております。

※3 新規事業による売上貢献は折り込んでおりません。

※4 海外展開を見据えたAIRsの多言語対応、マルチデバイス対応などを含みます。

# 本資料に関するご注意

本資料の内容は、現在入手可能な情報から当社の経営陣が判断したものであり、その内容の正確性を保証するものではありません。

様々な要素により将来の事業を取り巻く環境が大きく変動することも考えられます。従いまして、将来の業績や結果につきましては、本日も説明する内容と異なる可能性があることをご了承ください。

—本資料に関するお問合せ先—

株式会社マクロミル 財務経理本部 IR担当

TEL: 03-6716-0706 FAX: 03-6716-0701

E-mail: [ir@macromill.com](mailto:ir@macromill.com)